

蚊の発生源を断ちましょう



●蚊は空ビン、空カン、たまり水、竹の切りかぶなどからも発生します。●蚊をなくすため家のまわりを清潔にするよう日頃から心がけましょう。

—53年6月1日推計人口—

人口総数	75,382	世帯数	23,659
男	36,265		
女	39,117	面積	17.31 km ²
		市役所の電話	31局2121番

来春開校へむけて着工 埋立地内の小・中学校

西南部の潮見町に

埋立地の西南部にあたる潮見町で、市立七番目の小学校と三番目の中学校を建設する工事が、四月初旬から始まっています。

これらの学校は、造成地の開発を担当する兵庫県住宅供給公社の立替事業として施工していますが、将来、市が買い戻すことになり



高層住宅のそばで基礎工事がさかん

高層住宅などに入居が完了し、児童・生徒数がいよいよ多くなる時期の最大規模を、小学校三十六学級、中学校三十学級として、第一期工事分は、のちに述べますような規模で本年度内に工事を完了し、昭和五十四年四月に開校します。

多彩な目的教室

埋立地内の潮見町に建設している小学校(仮称潮見小学校)は、校地面積二万二千六百六十四平方メートルに、第一期工事分として鉄筋コンクリート造三階建の校舎が二棟

(二十四の普通教室、図書・音楽・家庭科・管理諸室)と体育館、プールを設けます。中学校(仮称浜中学校)は、校地面積二万八千六百平方メートルに、第一期工事分として鉄筋コンクリート三階建の校舎が三棟(十五の普通教室、図書・家庭科・理科・視聴覚・音楽・技術・語学訓練へし)教室、会議・管理教室)と体育館、プールを設けます。

総合的な教育活動を

学校教育のあり方は、教科などの指導だけではなく、生活指導を含めた総合的な教育活動の充実が重要とされています。

そのため、施設の特徴として、児童・生徒の自主活動、個別指導のための特別活動などの充実とともに、職員の研究研修室・会議室など、学校運営を円滑にするための施設を整備します。

自然を多くとり入れる

学校敷地が埋立地ですので、と

緑にくつろぐ 山まつり

あしや山まつり



第18回あしや山まつりは、5月14日(日)奥池の遊びの広場をメイン会場にして開かれ、約3千人のハイカーが参加、緑の中で初夏の1日を心ゆくまで満喫しました。会場では、芦屋女子短大の軽音楽演奏を楽しんだのち、全員がトリム体操やゲームをしたりして、自然の中でのびのびとくつろぐ姿が目立ちました。



新しく購入した救急車

いままで二台あった救急車のうち老朽化した一台を、先月から新しい車に買いかえました。新救急車は、以前のものとくらべて、一度に運べる患者数が七名と多くなり、また車内が広く、酸素吸入装置やクローラーなどが取付けられていて、車内での救急措置が非常にやりやすくなりました。

新救急車を購入

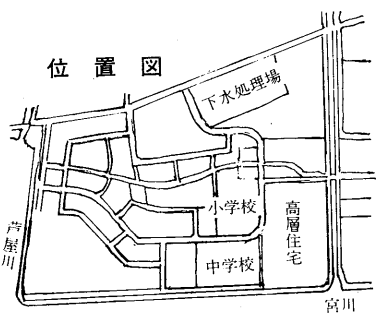
通信の迅速化と救急措置の充実

「119番」をさらにスムーズに 通信の迅速化と救急措置の充実

秋に指令装置を導入

昨今の火災・救急事故は、都市の複雑な機能、人口の増加、交通量の増え、生活様式の変化などによって、ますます多発して、多くの人命と財産に被害をあたえることが予想されます。

通常、消防の活動には、通報の受付、出動命令、現場の指揮連絡など通信施設の活用が重大です。通信が迅速、適確にいけば被害は最少限度にとどめることができます。



位置図

さらに高層住宅に住む児童・生徒が、その生活のなかで肉体的、心理的に影響をうけることが予想されますので、学校の教育施設のなかで、少しでもそれが解消されるようくふうをこらしています。コミュニティ・スクールの場もまた、住民が自主的に仲間意識、地域の連帯感を養い、社会教育の高揚をはかるコミュニティ・スクールの場として、住民の子弟が通学している学校施設を提供していきます。これは、地域住民生活に密着した住民自治の場としての「学校」をめざしているからです。

集まれ! ルナ・ホールへ

芦屋青年会議所・主催 『交通問題シンポジウム』

7月20日(木)午後1時30分開場・2時開始

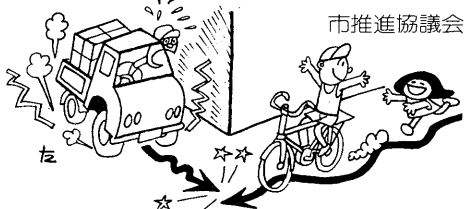
対象

幼児から小学校低学年のみなさん。保護者がいつしよにおこしください。一般市民のみなさんのご来場もお待ちしています。

■マンガ映画ほか ■交通ルール・クイズ大会 ■県警プラスバンドによる音楽会(ピンク・レディの歌でおなじみのメロディに合わせ、みんなで遊ぼう) ■お楽しみ袋プレゼント 後援/芦屋市・市教育委員会・芦屋警察署・芦屋市安全都市推進協議会・芦屋市PTA協議会・芦屋交通安全協会

7月20日~8月31日

夏の 交通事故防止運動



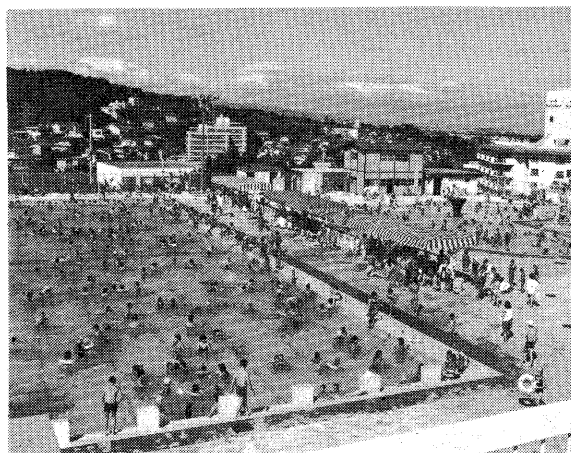
子どもを事故からまもりましょう

ルール守って、事故のない夏休みを

市民プールで泳ごう

- 期間 9月10日(日)まで
- 時間 8月19日までは 正午~午後7時 8月20日~9月10日 午前10時~午後7時 ○いずれも、日曜日は 午前9時~午後7時
- 料金 おとな2時間 200円 (1時間増すごとに100円) こども2時間 100円 (1時間増すごとに40円)
- プールの電話 ②3920

※マイカーはご遠慮ください。バスのご利用を。



「禁止」「危険」の場所で遊ばないように

良好な居住空間を確保

住みよいまちづくりに関する指導要綱

今月から実施

市では、良好な住環境を守るために、「芦屋市日照障害等の防止に関する指導要綱」を実施してまいりましたが、建築基準法の改正に伴う兵庫県日影条例が六月一日から施行されましたので、本市の日照指導要綱は廃止しました。しかし、本市ではこのたび新しい観点から、「芦屋市住みよいまちづくりに関する指導要綱」を制定しました。この要綱は、市域内において第二種住居専用地域における「外壁の後退距離」を定めることにより、良好な居住空間を確保することをねらいとしています。詳しいことは市都市計画課へお問合せください。

第一条【目的】

この要綱は、建築物を建築する場合における外壁の後退距離等を定めるほか、建築物の建築概要の事前公開制度を設けることにより、近隣に迷惑を及ぼさない良好な住環境の形成を図ることを目的とする。

第二条【用語の定義】

この要綱において「建築物」とは、建築基準法第二条第一号および第二

第三条【適用範囲】

この要綱は、市域内で建築されるすべての建築物に適用する。

第四条【外壁の後退距離】

建築主は、第二種住居専用地域内に

第五条【外壁の後退距離の特例】

市長は、次の各号の一に該当するときは、前条に定める外壁の後退距離を緩和することができる。

- 1 建築物の敷地が道路、河川、鉄道線路敷、その他これ等類似するものに接するとき
- 2 建築物が建築基準法施行令第三百三十五条の第五第二号に該当するとき
- 3 その他市長が特にやむを得ない事情があると認めるとき

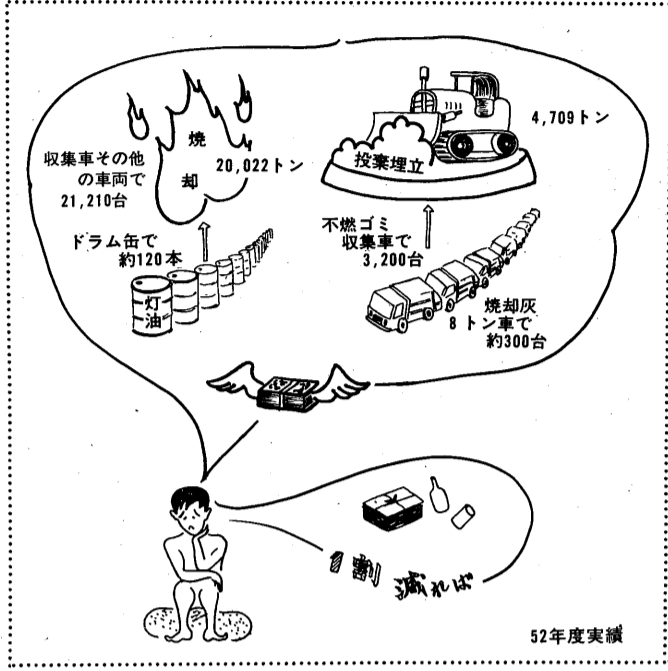
ゴミの再資源化と減量化

チリも積もれば高くつく

五十二年度に家庭から排出されたゴミは二万二千三百六十トン余り、市庁舎の約三倍強の容積に匹敵します。この大量のゴミは十五台の収集車で収集して、埋立地の南東部にある環境処理センターへ運ばれていきます。可燃ゴミは連続焼却炉で連日二十四時間稼働により焼却し、不燃ゴミは最終処分地に運ばれ投棄されます。これらのゴミ処理にかかる費用は税収の約八パーセント、金額にして約六億円で、一世帯当年間約二万六千円になります。

困ります可燃ゴミの混入

以前とくらべてゴミの質が変わり、不燃ゴミの量が増え続けています。市では可燃ゴミと不燃ゴミとを分別収集していることはご承知のことと思いますが、まだ不燃ゴミの中には、二十パーセント以



52年度実績

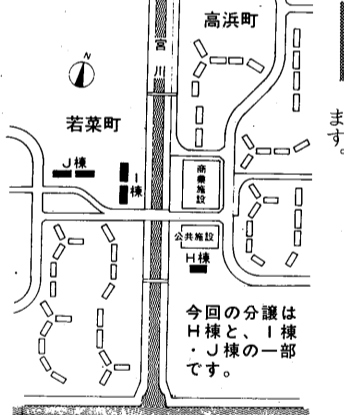
足もとにきた処分地問題

上の可燃ゴミが混じっているので、処理作業が大変困難にしているうえ、処理経費が高くなる原因になっています。分別排出のルールを守って、ゴミ処理にご協力をお願いします。なお、プラスチック、むつかしく、処分地問題がクロー

古新聞売却で 一千万円に

朝刊・夕刊一か月分約六キログラムになります。毎月五キログラムの古新聞を一年間二万三千世帯から排出されたら、合計千三百八十トンの膨大な量になります。これを一キログラムに七円で売却すれば、なんと九百六十六万円もの収入を得ることができるとのことです。またこの古新聞を焼却するのは、一日二十四時間を焼却するのは、一日二十四時間フルに燃やして二十日余りもかかり、その経費はまったくむだ金になってしまいます。処分の方で上下大きな違いがでます。ちよつとした心がけで省資源とゴミの減量化が実現できるのです。

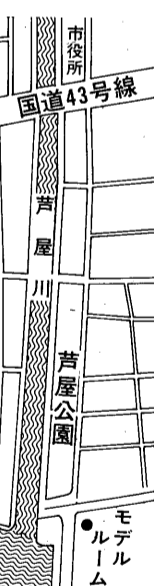
市民優先分譲始まる



芦屋埋立地で建設が行なわれている高層住宅(兵庫県営住宅、兵庫県住宅供給公社住宅、日本住宅公団住宅、株式会社アステム住宅)のうち、株式会社アステム住宅の芦屋市民優先の第一期分譲受付が下表のように、Cタイプは七月九日(日)から十一日(火)まで、A・Bタイプは七月二十二日(土)から二十四日(月)まで、それぞれ三日間行なわれます。なお分譲受付に先だち、七日からモデルルームや現地販売事務所を開設します。

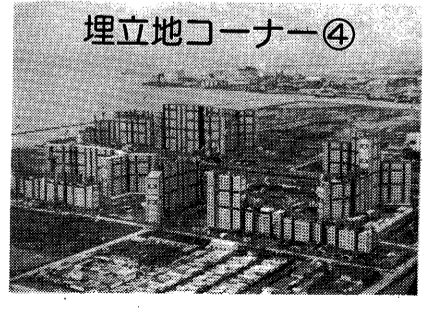
	Aタイプ(J棟)	Bタイプ(I棟)	Cタイプ(H棟)
第1期市民優先分譲戸数	15戸	32戸	43戸
第1期分譲総戸数	66戸	100戸	98戸
市民優先受付期間	7月22日(土)～7月24日(月)		7月9日(日)～7月11日(火)
受付時間	いずれも、午前10時から午後5時まで		
受付場所	芦屋川河口付近、総合展示場内の(株)アステム現地販売事務所 ☎0551		
住宅金融公庫融資	住宅金融公庫融資がつかます		融資なし
購入者の決定方法	1住戸に2名以上の場合は7月30日に公開抽選		先着順
市民優先住戸分譲価格	2,070万円～2,270万円	2,160万円～2,370万円	2,520万円～3,210万円
市民優先住戸住居面積	住戸専有 75.06㎡ バルコニー 6.53㎡他	住戸専有 80.84㎡ バルコニー 6.53㎡他	住戸専有 92.80㎡ バルコニー 11.64㎡他
入居予定	54年3月中旬	54年8月中旬	54年8月中旬
2期分譲予定	53年10月、総戸数151戸(内市民優先戸数25戸)の予定		
3期分譲予定	54年4月、総戸数184戸(内市民優先戸数35戸)の予定		

▶受付期間終了後、空住戸は一般分譲に切換え。▶受付時には住民票が必要。



甲子園球場の32倍の広さ

昭和50年に造成が全部完成した埋立地のほぼ中央部に、市内のどの位置からでものぞめる高層住宅がほとんどできあがり、来年春の入居に備えて今月上旬から一部入居募集が始まります。さてこの新しい市街地、どのくらいの広さがあると思われますか。一番深い所で8mの海を海面から4m以上にも埋立て、そのための土砂は淡路島からプッシュバージ方式という押船式の船で運ばれ、その量は8tダンプカーにして32万台分、1,500万m³にもおよびます。大きさは南北の長さ、西端で450m、東端で860m、東西1,600



埋立地コーナー④

m、広さは宮川を境にして東側67.92ha、西側57.62ha、合計125.54haになります。この造成規模を大阪湾沿岸の各市の埋立規模と比較しますと、本市の場合は小さなものですが、甲子園球場の32倍、国道43号線以南に相当する広さがあり、市の面積は埋立以南の16.07km²から17.31km²へと7.7%広くなりました。なお、この125haの新しい土地は、「国際文化住宅都市」にふさわしいまちづくりをするため、住宅に40.5%、道路に20.7%、教育施設に10.3%、公園緑地に8.4%などと利用され、埋立地で工場のない住宅地にするには全国的にもめずらしいことです。

この「広報あしや」は、芦屋市広報委員会の自主活動のひとつとして広報委員会主催の本年度地区

